

平成 28 年 6 月開催 <PDU/PMP 教育受講証明発行研修>

## 「実践的プロジェクトマネジメント技法研修」のご案内

基礎編 ～PMBOK ガイド準拠の体系的マネジメント技法の習得～

実践編 ～失敗事例を通して IT プロジェクトマネジメント強化の実際を習得～

今般、協会主催にて表題研修を開催いたします。

一般的には、プロジェクトマネジャーは経験を積むのが第一と考えられています。しかしながら、実際には経験を積んだプロジェクトマネジャーが担当しているプロジェクトにおいて、納期遅れや仕様漏れなどのトラブルに見舞われることが多く、プロジェクトの現場では、しっかりとしたマネジメント力や知識に基づく判断や対処をタイミング良く施していくことが求められております。

本研修は、プロジェクトマネジメント知識体系の国際標準ともいえる PMBOK ガイドに基づき、基礎編にてプロジェクトマネジメントの概要から実務ベースの管理技術まで体系的に習得していただき、現場で求められる心構えや判断力、対処のポイントなども同時に学びます。また、実践編ではケーススタディ演習を通して管理スキルのポイント（実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理など）をより深く掘り下げて学習します。

是非、この機会にご活用いただき、プロジェクトマネジメント力の向上にお役立てください。

### 記

- ◆ 研修名： 実践的プロジェクトマネジメント技法研修（基礎編／実践編）
- ◆ 日時： 基礎編：6/23（木） 実践編：6/24（金） 各日共 9：30 ～ 17：30
- ◆ 会場： NAViS 研修室 アクセス：<http://www.navis.co.jp/about/access.html>
- ◆ 定員： 基礎編、実践編 各 20 名（どちらか 1 コースだけの参加も可）
- ◆ 受講料： 1 コース受講 MISA 会員：16,200 円／一般：21,600 円（税・テキスト代込み）  
2 コース受講 MISA 会員：27,000 円／一般：37,800 円（税・テキスト代込み）  
※申込締切後、MISA 事務局より参加費用振込みのご案内を致しますので、案内に従って指定口座へお振込みください。
- ◆ 特典： 各コース修了者には、PMP 資格の取得・維持に必要な PMP 教育受講証明書または PDU を発行します。（1 コースあたり 7 時間／7PDU）
- ◆ 申込先： Web 申込フォーム、または申込書を E-mail または FAX でお送りください。  
MISA 事務局 Web 申込：<http://www.misa.or.jp/?p=6930>  
TEL：022-217-3023 FAX：022-217-3055 E-mail：misa@misa.or.jp
- ◆ 申込締切： 6/10（金）
- ◆ 問合せ先： 研修内容および会場等のお問い合わせは下記までお願い致します。  
NAViS（株）仙台ソフトウェアセンター 及川 公司（MISA 人財育成委員会）  
E-mail：seminar@navis.co.jp TEL：022-298-3709

※研修内容の詳細については、別紙資料をご参照ください。

以上

MISA（一般社団法人宮城県情報サービス産業協会）

# 実践的プロジェクトマネジメント技法研修（基礎編）

～PMBOK ガイド準拠の体系的マネジメント技法の習得～

日時：平成 28 年 6 月 23 日（木） 9:30～17:30

本研修は、IT プロジェクトマネジメントを PMBOK ガイドの観点から体系的に学び、プロジェクトマネジメントに必要な技術・知識とプロジェクトマネジメント技法を習得します。

プロジェクト・ライフサイクルに従ったマネジメント・プロセス（立上げ、計画、実行、監視・コントロール、終結）を IT プロジェクトにおける考慮点と共に理解することができ、プロジェクトマネジメントのハードスキル（品質、コスト、納期）とソフトスキル（人的資源、コミュニケーション、リスク、調達）の両方を習得することができます。

日 程	平成 28 年 6 月 23 日（木）（1 日間） 9:30～17:30
対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトリーダー／マネジャーとして実務にあたっている方</li> <li>・プロジェクト経験者で、プロジェクトリーダー／マネジャーを目指している方</li> <li>・プロジェクトマネジメントを基礎から整理して学習したい方</li> <li>・PMP 資格を取得したい方、および更新のための PDU 取得をしたい方</li> <li>・プロジェクト管理の社内標準を作成する方 など（MISA 会員／非会員は問いません）</li> </ul>
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発経験があること。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PMBOK ガイドに基づく IT プロジェクトマネジメントの考え方を習得する。</li> <li>・プロジェクト・ライフサイクルに従ったマネジメント・プロセス（立上げ、計画、実行、監視・コントロール、終結）について基礎的事項を理解する。</li> </ul>
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>プロジェクトマネジメント最新動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクトマネジメントの必要性</li> <li>－不採算プロジェクト原因分析</li> <li>－IT 業界の PMトレンド</li> </ul> </li> <li>◆ <b>IT プロジェクトマネジメントの特徴と必要スキル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクトマネジメントとは（PMBOK ガイド）</li> <li>－ステークホルダーとプロジェクトの関係</li> <li>－IT プロジェクトのフレームワーク例</li> <li>－プロジェクト・ライフサイクル</li> <li>－プロジェクトマネジメント・プロセス</li> <li>－IT プロジェクトの特徴と必要スキル</li> </ul> <p>※SI プロジェクト、Web コンテンツ開発プロジェクト、金融システム開発プロジェクトの 3つを紹介する中で、プロジェクトの規模によるマネジメントスタイルの違いについても講師よりご説明いただきます。</p> </li> <li>◆ <b>プロジェクト失敗の原因</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－様々な問題プロジェクト</li> <li>－問題プロジェクト原因分析（例）</li> </ul> </li> <li>◆ <b>プロジェクトマネジメントの知識体系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>－PMBOK ガイドとは</li> <li>－PMBOK 知識エリアの構成</li> <li>－10の知識エリアの要約</li> <li>－プロジェクトマネジャーに必要なスキル</li> <li>－5つのプロジェクトマネジメント・プロセス群</li> </ul> </li> </ul>

カリキュラム	<p>◆ プロジェクトの立上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクト憲章作成</li> <li>－ステークホルダー特定</li> <li>－ITプロジェクトにおける考慮点</li> </ul> <p>◆ プロジェクトの計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－WBS作成</li> <li>－人的資源マネジメント計画</li> <li>－アクティビティ定義</li> <li>－アクティビティ順序設定／資源見積り／所要期間見積り</li> <li>－スケジュール作成</li> <li>－コスト見積り</li> <li>－予算設定</li> <li>－品質マネジメント計画</li> <li>－リスク特定</li> <li>－定性的リスク分析</li> <li>－リスク対応計画</li> <li>－調達マネジメント計画</li> <li>－ステークホルダー・マネジメント計画</li> <li>－ITプロジェクトにおける考慮点</li> </ul> <p>◆ プロジェクトの実行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－品質保証</li> <li>－プロジェクト・チーム育成／マネジメント</li> <li>－調達実行</li> <li>－ステークホルダー・エンゲージメント・マネジメント</li> <li>－ITプロジェクトにおける考慮点</li> </ul> <p>◆ プロジェクトの監視・コントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－スコープ・コントロール</li> <li>－スケジュール・コントロール</li> <li>－コスト・コントロール</li> <li>－品質コントロール</li> <li>－コミュニケーション・コントロール</li> <li>－調達コントロール</li> <li>－統合変更管理</li> <li>－ITプロジェクトにおける考慮点</li> </ul> <p>◆ プロジェクトの終結</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－調達終結</li> <li>－プロジェクトやフェーズの終結</li> <li>－ITプロジェクトにおける考慮点</li> </ul> <p>◆ 演習:PMBOK 準拠「いちご狩りプロジェクト」</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◇ 受講者の声（平成27年度受講者アンケートより）

- ・ 実体験等を交え、お話し頂いた事、及びコンテンツ開発にも寄せてお話だけた為、イメージも出来理解・促進に繋がりました。
- ・ 失敗の例ではうなずく事が多く、共感する所が多かった。全体を当てはめるのは難しそうであるが、狭い範囲でもやれる所をやっていきたい。
- ・ 今までの手法に今日学んだ手法を取り入れ、最も良い形、バランスでプロジェクトを進めていく。
- ・ 5～7年目の若手社員にも、自分が参加しているプロジェクトを別視点で考えることを学ぶために受講を進めたい。
- ・ 見積りの方法（SPR法）は実務に活かしてみたいと感じた。
- ・ 普段、分かっているても実行できなかったリスク管理について改めて意識し、活用したい。



MISA（一般社団法人宮城県情報サービス産業協会）

## 実践的プロジェクトマネジメント技法研修(実践編)

～失敗事例を通してITプロジェクトマネジメント強化の実際を習得～

日時：平成28年6月24日(金) 9:30～17:30

本研修は、ITプロジェクトマネジメントの監視・コントロールに焦点を当て、ケーススタディ(失敗事例)を通してプロジェクトマネージャーが管理面で留意すべきポイント(実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理)を習得します。

プロジェクト管理は事が起こってから対応のイメージがありがちですが、計画と監視・コントロールの重要性やポイントについても習得できます。

ケーススタディでは、実際に起こっているトラブルと共通点が多いリアルな失敗事例を用いますので、マネジメントにおける実用的なポイントを分かりやすく学ぶことができます。

日 程	平成28年6月24日(金) (1日間) 9:30～17:30
対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトリーダー／マネージャーとして実務にあたっている方</li> <li>・プロジェクト経験者で、プロジェクトリーダー／マネージャーを目指している方</li> <li>・プロジェクトマネジメントを基礎から整理して学習したい方</li> <li>・PMP資格を取得したい方、および更新のためのPDU取得をしたい方</li> <li>・プロジェクト管理の社内標準を作成する方 など (MISA会員／非会員は問いません)</li> </ul>
前提知識	<p>下記のいずれかを満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト参加経験があること(サブリーダー程度)。</li> <li>・PMBOKガイドの概要についての知識があること。</li> <li>・「実践的プロジェクトマネジメント技法研修(基礎編)」を修了していること。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの失敗原因を分析し、再発防止のための対策を立案する。</li> <li>・プロジェクトの監視・コントロール(実績報告、問題管理、変更管理、コミュニケーション管理、品質管理)のポイントを理解する。</li> <li>・プロジェクトを終結させ、教訓を将来に活かす。</li> <li>・人材育成の手法について理解する。</li> </ul>
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ プロジェクトの立上げと計画プロセスの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクトの立上げ</li> <li>－プロジェクトの計画</li> <li>－プロジェクト計画書の記述項目</li> </ul> </li> <li>◆ プロジェクトの実行プロセスの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>－品質保証</li> <li>－プロジェクト・チーム編成(要員の調達)</li> <li>－アサイン</li> <li>－プロジェクト・チーム育成</li> </ul> </li> <li>◆ プロジェクトの監視・コントロールの位置付け</li> <li>◆ ケーススタディ(失敗事例) <p>システム構築プロジェクトの失敗事例を取り上げ、失敗の原因と再発防止のための対策、実施すべきリカバリ事項などをグループ討議で考察し、結果を発表します。</p> </li> </ul>

カリキュラム	<p>◆ プロジェクトの監視・コントロールのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－実績報告のポイント</li> <li>－PM 支援ツール利用目的とメリット</li> <li>－コスト・コントロールのポイント</li> <li>－問題管理のポイント</li> <li>－コミュニケーション管理(会議・連絡)のポイント</li> <li>－仕様変更管理のポイント</li> <li>－品質コントロールのポイント</li> </ul> <p>◆ プロジェクトの終結のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクト完了報告</li> </ul> <p>◆ プロジェクトマネジメント力強化の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－プロジェクトマネジメント力の把握</li> <li>－発注側の要求仕様の明確化(RFP)</li> <li>－初期段階での精度の高い見積</li> <li>－統合化されたシステム構築力</li> <li>－プロジェクト実施計画書の作成と運用</li> <li>－個人レベルのプロジェクトマネジメント力強化</li> <li>－組織レベルのプロジェクトマネジメント力強化</li> </ul>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ◇ 受講者の声 (平成 27 年度受講者アンケートより)

- ・ 社内の意識を変えていきたいが、自分にこれまで体系的な知識に関する教育を受ける機会が無かったので、今回一通り学習出来たことは本当に嬉しい事でした。
- ・ 現在はサブリーダーとしての立場のため、今後自分がプロジェクトリーダーになった時に、研修の内容を活かしていきたい。
- ・ 実際の事例を交えてのお話の為、非常に参考になりました。
- ・ 資料を参考に自社のフォーマット作成 (整備) を進めたい。
- ・ 社のメンバーに、原因分析の方法を伝えたい。問題の多いプロジェクトを抱えているので。
- ・ 組織レベルのプロジェクトマネジメントについて、自社における理解を推進するのに、上長に対して推薦出来ると感じました。

#### ◆ 講師プロフィール

##### 佐藤 義男 (さとう よしお)

(株) ピーエム・アラインメント 代表取締役社長  
PMI 認定 PMP <http://www.pmalignment.com/>

石川島播磨重工業 (株) にて、CIM アプリケーション、原子力発電所検査データ収集・処理システム、AI 応用システムなどの開発経験 16 年。日本 DEC (株) にて、プロジェクトマネジメント実践経験を活かして、新規顧客向け SI ビジネスのプロジェクトマネジャーとして指揮・監督を行う。

現在、(株) ピーエム・アラインメントを設立し、企業向けに PM コンサルティング・サービス (PM 教育、PMO 業務支援、アセスメント支援) を提供。2013 年 10 月に「PMI 年間最優秀教育プロバイダー」として表彰された。

日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) 副理事長、PMI 会員。

著書「改訂新版 PMBOK による IT プロジェクトマネジメント実践法」ソフト・リサーチ・センター社  
共著「IT 分野のための P2M プロジェクト&プログラムマネジメント ハンドブック」日本能率協会  
マネジメントセンター



## 「実践的プロジェクトマネジメント技法研修(基礎編・実践編)」申込書

開催日:(基礎編)平成 28 年 6 月 23 日(木)、(実践編)平成 28 年 6 月 24 日(金)

会 社 名 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

申込窓口担当者 \_\_\_\_\_

担当者所属・役職 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

E-mail. \_\_\_\_\_

参 加 者 欄				
氏 名	所属・役職	プロジェクトマネジャー(PM) ／リーダー(PL)経験	コース(○記入)	
			基礎編	実践編
		PM: _____ 年 / PL: _____ 年 (プロジェクト規模(最大): _____ 人月)		
		PM: _____ 年 / PL: _____ 年 (プロジェクト規模(最大): _____ 人月)		
		PM: _____ 年 / PL: _____ 年 (プロジェクト規模(最大): _____ 人月)		
		PM: _____ 年 / PL: _____ 年 (プロジェクト規模(最大): _____ 人月)		
		PM: _____ 年 / PL: _____ 年 (プロジェクト規模(最大): _____ 人月)		
(特記事項・要望など)				

### <注意事項>

- ・ 申込コースは必ず参加者ごとに記載してください。
- ・ 研修運営において参考にしますので、参加者の所属・役職、PM/PL 経験年数も必ずご記入ください。  
※PM/PL 経験年数は、おおよそを記入してください。未経験の場合は「0」をご記入ください。
- ・ 請求書送付の宛先・住所が申込担当者と異なる場合は特記事項・要望欄にてお知らせください。

申込書記載の個人情報は MISA 個人情報保護規定に基づき運用いたします。本研修受講以外の目的に使用することはありません。